

市立保育所及び市立幼稚園における運動遊び等にかかる取組例

1 市立保育所及び市立幼稚園の取組

市立保育所においては、さまざまなテーマを設定した合同業務研修を実施しており、その中で運動遊びの分野における有識者から、遊びの中で大切にしていけるべきことや幼児期に高めたい能力等について助言指導を受けている。

これらの助言指導を受け、各保育所においては、子どもの年齢等に応じたねらいを設定の上、下記のような運動遊びを実践している。

市立幼稚園での運動遊びについては、年間の行事等と関連させた取組をしている。基本的に自由保育としていることから、設定された運動や運動遊びの時間は特に設けていない。

(1) 市立保育所の運動遊びの実践例（4～5歳児が主な対象のもの）

- ・フープ交互くぐり（1つのフープを2人で交互にくぐる。）
- ・アザラシ歩き（両手で自分の体を支えながらアザラシのように動く。）
- ・鬼ごっこ
- ・逆上がり
- ・転がしドッジボール
- ・マット運動（前転等）
- ・積み木ジャンプ
- ・相撲ごっこ

⇒これらの運動遊びの実践を通じて、子どもたちがさまざまな動きを経験し体の部位を動かすことの楽しさを学ぶとともに、飛躍力や支持力といった運動能力の向上を図っている。

(2) 市立幼稚園の運動遊びの実践例（4～5歳が主な対象のもの）

- ・自由な運動遊び（鬼ごっこ、ボール遊び、雪によるソリ遊び等）
- ・登山に向けたマラソンの練習
- ・運動会に向けた表現の練習